

# 検便の採取方法と採取時の注意点

株式会社 東邦微生物病研究所

## 採取方法



キャップ内には、「採取棒」が取り付けられていますので、容器内のゼリー状の保存剤が飛び出さないように、キャップ部分をゆっくり引き抜いて下さい。

採取棒の先端リング状部分を大便に数回突き刺してリング部分に便が詰まるように採取して下さい。

軟便の時でも同様に採取して下さい。

採取後、キャップを本体に戻してパチンとロック音がするまで押し込んで下さい。

容器本体には保存剤が入っていますが早めに提出して下さい。(採取してから7日以内です。)



便を採取するとき、左図のような姿勢で行うと採取が容易です。なお、便器の溜まり水に便が触れると、「検査不能」となる場合がありますので注意してください。

## 「検査不能」について

検査結果欄に「検査不能」と表記される場合があります。これは、検査の結果として細菌が全く検出できなかったことを意味します。

その原因として考えられるケースは、「便の採取量が検査に必要な量よりも少なかった」、「便器の溜まり水に浸けただけで実際には便が採取されていなかった」などです。

半透明の採便容器本体から便の色が透けて見える場合は、検査可能です。

# バーコード付き名前ラベルの貼付方法



必ず「提出月」の名前ラベルを使って採便容器に直接貼って下さい。  
前月などの名前ラベルは使用しないで下さい。  
名前ラベルを汚損・破損すると、印刷されたバーコードデータが読取れない場合がありますので、注意して貼付してください。

貼付方向は、写真のとおりです。



バーコードが無い名前ラベルもありますが、こちらは会社名、所属先、氏名をご記入ください。



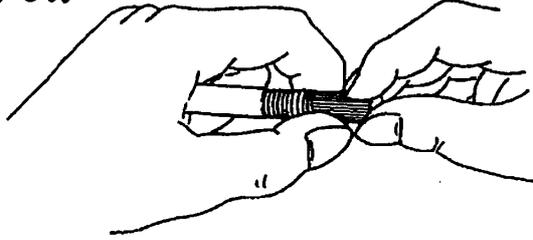
印のようにバーコードが見える方向に巻きつけて下さい。

×印のような方向に巻いて貼付すると、印刷バーコードが隠れてしまいデータを読み取ることができません。

# 正しい大便のとり方

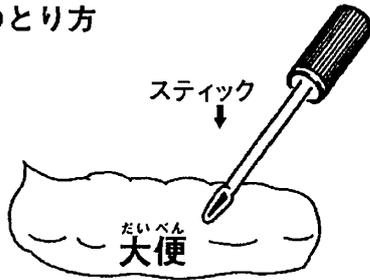
- ▲なるべく新しい大便をとって下さい。
- ▲容器の中のゼリー状の培地は捨てないで下さい。
- ▲ラベルに氏名などを記入して下さい。

## ① キャップのはずし方



中指と薬指で本体を持ち、親指でキャップを静かにずらしながら、一方の手でゆっくりキャップを引きぬく。

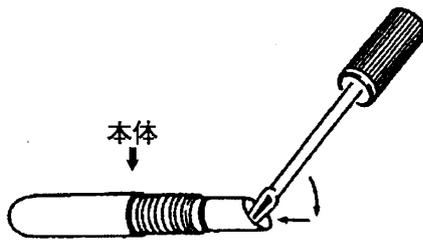
## ② 便のとり方



便の表面にスティックの先端部を2~3回つきさし、穴の部分に便が埋まる程度採取します。

※ 下痢便のときも同様に必ず穴の部分に便を入れてください。

## ③ キャップの差し込み方



スティックを斜め上より本体に差し込み、パチンと音がするまで押し込む。



### 注 意

- ・中のゼリー状のものは飲めません。又、他の容器に移しかえたり捨てたりしないでください。
- ・スティックを直接肛門に挿入し便をとらないでください。
- ・小児の手のとどかないところに保管してください。
- ・直射日光を避け、室温保存してください。
- ・キャップを閉めたのちテープ止め等をしないでください。
- ・本品は採便の目的以外には使用しないでください。